

## ナラ枯れ防除対策実証検討会の開催について

### 1 はじめに

胆江地方では、令和2年度にナラ枯れ被害が拡大し、その対策が地域の緊急課題となっていることから、令和3年6月24日、新たな被害対策のあり方について模索するため、胆江地方農林業振興協議会林業部会主催でナラ枯れ防除対策の実証検討会を開催しました。(参加者:岩手南部森林管理署、市町、森林組合、県)

### 2 検討会の内容

岩手県林業技術センターの小岩上席専門研究員から説明を受けた後、18名の参加者を3つのグループに分け、既にかシノナガキクイムシに穿入されてしまった木に対して脱出・被害拡大の防止を目的とした2つの防除対策を体験しました。

どちらも飛び出してくるカシノナガキクイムシを粘着シートで捕獲するという方法で、伐採を伴わず薬剤も使用しないため、特別な用具や経験が無くても実施できます。

#### (1) 農業用ポリシート被覆



対象木の根元付近に粘着資材を設置し、約2m程度の高さまで厚手の農業用ポリシートで被覆しました。隙間確保のため枝等でスペースを作り上部をガムテープで

しっかり固定し、シートの裾を地面に埋め込んで完成です。

#### (2) 粘着シート被覆

樹幹に専用の粘着シートが密着しないよう、PPロープや小枝でスペーサーを設置し、その上から地上高2m程度まで完全に粘着シートで被覆します。粘着部分を樹幹に向け、根元付近もしっかり被覆し、完成です。



### 3 今後の対応

林業技術センターの協力により、防除効果を確認・検証することとしており、その結果を踏まえ、駆除・防除対策のひとつの選択肢として取り入れていきたいと考えています。

### 4 おわりに

参加者自らが体験することで、作業方法や資材について様々なアイデアを出し合うことができ、連帯感が感じられる等大変有意義な実証検討となりました。

また、特別な用具や経験が無くても実施できる方法として様々なアプローチの可能性を感じることができました。

今後とも、関係機関との連携を密にして被害対策を進めていくこととしています。